

一般社団法人 大阪総合医学・教育研究会  
令和6（2024）年度 定例学術研究会

## 衝動性、行動化の激しい子どもへの理解と対応

一般社団法人大阪総合医学・教育研究会では、職種領域を越えて心因性疾患やその周辺領域の子どもへの理解を深めるべく昭和52（1977）年から定例学術研究会を開催しています。

令和6年度テーマは『衝動性、行動化の激しい子どもへの理解と対応』としました。コロナ禍によって我々の生活様式は大きく変化しました。子どもが育つ上での体験や実感も従来とは質の異なるものとなり、子どもの心身の成長・発達に影響を与えています。一方、臨床現場では、子どもの衝動制御の困難さや激しい行動化への対処に周囲が苦慮し、治療や相談を求めるケースが増加しているように感じます。その場合、治療や支援に多職種でのアプローチが必要かつ有効な例は少なくありません。

様々な領域の第一線で子どもの問題に取り組む先生方をお迎えし、多職種の参加者からなる研究会であることを活かして上記の問題について考えたいと思います。

ご参加をお待ちしております。

**【 開催予定 】** 開催時間 金曜：19：00～21：00（※）

開催日	内容・講師（予定）
402回：5月10日（金）	教育領域での取り組みⅠ スクールロイヤーの実践 笠原 麻央先生（老松町総合法律事務所 弁護士）
403回：6月14日（金）	教育領域での取り組みⅡ スクールソーシャルワーカーの実践 黒田 尚美先生（大阪府教育委員会・堺市教育委員会 スクールソーシャルワーカースーパーバイザー）
404回：7月12日（金）	デジタル・ネイティブ世代の思春期心性について 飛谷 渉先生（大阪教育大学 教授・精神科医）
405回：8月3日（土） [特別回] 講義と症例検討（※）	非行・犯罪行動の心理学的理解と支援 小林 万洋先生（長野大学教授・臨床心理士・公認心理師）
406回：9月13日（金）	一時保護所での取り組み 小積 律子先生（堺市こども相談所）
407回：10月11日（金）	衝動性、行動化が激しい子どもへの医療対応 内田 祐子 先生（京都市児童福祉センター診療所）
408回：11月8日（金）	少年鑑別所／少年院の役割 - 鑑別・監護・矯正教育の実際 宇治田直樹先生（京都少年鑑別所）
409回：12月13日（金）	調整中

※ 8月3日（土）は特別回のため開催時間、会場、参加費用が異なります（裏面をご覧ください）。

## 【 参加要項 】

**参加資格**：医師・看護師・心理士・教師・保育士など、子どもの成長・発達に関わる専門職に従事する方、または同領域の大学院生で守秘義務を遵守していただける方

**会 場**：エル・おおさか（大阪府立労働センター）  
大阪府中央区北浜東 3-14 京阪・地下鉄谷町線「天満橋駅」より西へ 300m

**年会費**：20,000 円

- 定例学術研究会令和 6 年度年会員として、第 402 回～第 409 回（第 405 回を除く）のうち希望される全ての回にご参加いただくことができます。
- 参加費納入と登録用紙等の返送をもって年会員として登録し、毎回のご案内を郵送させていただきます。法人等団体としての登録も可能です。  
ご希望の方は「こども心身医療研究所」まで書類送付先をお知らせください。
- 単回の参加（参加費：4,000 円/回）も可能です。ただし、会場定員ほか諸事情によりご参加いただくことが難しい場合もありますので、必ずお問い合わせの上、参加申込をお願いします。

※ 公益財団法人 関西カウンセリングセンター研修ポイントが取得できます

### 特別例会について

令和 6 年 8 月 3 日（土）10:00～16:00（予定）

会 場：大阪産業創造館（堺筋本町駅近く）

小林先生による非行・犯罪行動の心理学的理解と支援に関する講義、症例検討会を予定しています。詳細は決まり次第ご案内いたします。

小林万洋先生ご略歴：長野大学社会福祉学部教授。京都大学教育学部卒業後法務省入省。法務省矯正局、東京拘置所、少年鑑別所長（千葉、仙台、東京等）等で 20 年間にわたり少年少女の非行に向き合う。

**連絡・問合せ先**：一般社団法人 大阪総合医学・教育研究会 こども心身医療研究所

Tel. 06-6445-8701 Fax. 06-6445-7341 （担当 友滝・藤原）